

は、平成6年10月に拓殖鉄道の社有地の一部について「自然を生かした公園として使ってほしい」という趣旨で寄付をいただいた。

町民有志11名で構成された検討委員会の現地調査を経て、「自然を守りつつ自然に親しむための最低限の整備」を基本に平成9年から11年の3年をかけ、木道、遊歩道、石張り園路、池、駐車場、トイレの整備を進めてきた。

20年近くが経過し、平成29年に老朽化による一部補修を行った。

時間の経過とともに公園の在り方も変わる中で、当時の思いも尊重しながら今後の政策を検討していきたい。



湯浅真希議員

問 働き手の確保とそれにつながる  
移住定住施策の充実を！

答 食生活・住宅併せた  
担い手育成住宅の整備を進める

多くの業種において、人材確保、働き手の育成は喫緊の課

題となっている。

地域力を維持し、さらに強化していくために、ソフト面でも一層の施策充実が必要と考え、移住定住施策を含め複合的に対策を講じる必要性があると考えるが、町として今後の方向性をお伺いする。

また、定住先を選ばれる魅力ある『町』として感じてもらえるよう、積極的な情報発信も重要ではないか。

情報発信の仕方、ソーシャルメディア（インターネット上の情報）に対する考えをお伺いする。

### 浜田町長

検討の結果、人手不足への対応事例集や支援制度一覧の作成をはじめ、無料職業紹介事業への準備

を進めている。

また、新たな担い手、労働力確保につながるため、食生活と住居を併せて提供する民間による担い手育成住宅の整備も進める。

継続した取り組みが必要で、適切な対応策を講じたい。

また、4月から入管法が改正になり、間違いなく地域社会の中で文化の違う方たちとも一緒に生活していくことを意識していかなければならないと考えている。

町公式フェイスブックについては、発信内容の充実と更新頻度を高め、多くの方にまちの魅力が伝わるように取り組むたい。

SNSに関しては賛否あるため、内部で検討していきたい。



廣山輝男議員

問 教職員の長時間労働  
是正への具体策は？

答 勤務時間、週60時間を  
超える教職員ゼロへ

教職員の長時間労働は正にに向けた北海道教育委員会の「アクションプラン」について、四つの指標の具体策を求める。

再来年度末を目標に

①部活動休養日の完全実施

②変形労働時間の活用

③定時退勤日の実施

④学校閉庁日の完全実施の設定

その具体策と町教育委員会の役割と更なる是正に向けた取り組みを求める。

### 武田教育長

町として、昨年8月「新得町立学校における働き方改革業務改善計画」を策定

①「1週間当たりの勤務時間60時間を超える教職員をゼロにする」

②部活動休養日を年間73日に、そのため

変形労働時間制で対応

③月2回以上の定時退勤日とする

④年間9日以上学校閉庁日を実施する